

## 『有機反応機構』ワークブック – 巻矢印で有機反応を学ぶ！ 正誤表

【初刷】

ページ	位置	誤	正
13	上の反応式の生成物(右側)	$\text{R}-\overset{\text{O}}{\parallel}{\text{C}}-\text{Y} + \text{Nu}^-$	$\text{R}-\overset{\text{O}}{\parallel}{\text{C}}-\text{Nu} + \text{Y}^-$
22	下から4行目	多くの場合、酸性条件では $\text{S}_{\text{N}}1$ 機構で、塩基性条件では $\text{S}_{\text{N}}2$ 機構で進んでいると考えてよい。	塩基性条件では $\text{S}_{\text{N}}2$ 機構で進む。酸性条件でも $\text{S}_{\text{N}}2$ 機構で進むと考えられているが、プロトン化により C-O 結合がゆるみ C 上に正電荷が生じている。
47	問題10.12の1行目	カルベン	ニトレン

[ 2022.06.24 現在 ]

【2刷】

ページ	位置	誤	正
13	上の反応式の生成物(右側)	$\text{R}-\overset{\text{O}}{\parallel}{\text{C}}-\text{Y} + \text{Nu}^-$	$\text{R}-\overset{\text{O}}{\parallel}{\text{C}}-\text{Nu} + \text{Y}^-$

[ 2022.06.24 現在 ]